



みんなく 映像民族誌 シアター

会 場：シアターセブン
阪急十三駅 西改札口より徒歩約5分
参加費：無料
定 員：60名（当日先着順）事前申込不要

2019.1.12 [土]14:00~16:00(開場13:30)
カラハリ砂漠のトランスダンス

2019.1.26 [土]14:00~16:00(開場13:30)
ネパールの30年

2019.2.9 [土]13:30~16:00(開場13:00)
アリラン峠を越えていく

2019.2.17 [日]14:00~16:00(開場13:30)
中国雲南省大理盆地の回族



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology



みんなく映像民族誌シアター

参加費：無料 定員：60名（当日先着順）事前申込不要 館外での開催となります。ご注意ください。

カラハリ砂漠のトランスダンス

2019.1.12 [土] 14:00～16:00（開場13:30）

撮影：1999年 監修：池谷和信 上映時間：65分
司会：福岡正太（本館 准教授）
解説：池谷和信（本館 教授）



アフリカ南部に広がるカラハリ砂漠には、サンとよばれる狩猟採集民が暮らしてきた。消えつつある毒矢狩猟、水源として利用されるスイカ、伝統的なドクターによる病気治療、新興住宅地における生活などを描いた短編映像4本を上映し、サンの人びとの伝統的な生活とその変化を知る。上映後、監修者池谷和信のトークあり。

アラン峠を越えていく

—在日コリアンの音楽

2019.2.9 [土] 13:30～16:00（開場13:00）

撮影：2014～2016年 監修：高正子 寺田吉孝 上映時間：76分
司会：寺田吉孝（本館 教授）
解説：高正子（神戸大学 非常勤講師） 安聖民（パンソリ演奏家）



在日コリアンは、朝鮮半島の植民地時代（1910年～45年）に日本に移住した人びととその子孫たち。文化のはざまに生きる彼らの苦難と希望の象徴であるアラン峠を、音楽によって越えていこうとする在日コリアン音楽家たちの思いを描くドキュメンタリー映像を上映したあと、監修者と出演者の一人である安聖民さんによる座談会をおこなう。

ネパールの30年

2019.1.26 [土] 14:00～16:00（開場13:30）

撮影：1982年・2013年 監修：南真木人 寺田吉孝 藤井知昭 上映時間：77分
司会：福岡正太（本館 准教授）
解説：南真木人（本館 准教授）



1982年、藤井知昭（本館名誉教授）を代表として、ネパールで音楽調査と撮影がおこなわれた。31年を経た2013年、以前撮影された4つの家族を再び取材班が訪れた。1982年に撮影された3本の映像作品と2013年に新しく撮影・編集した作品の上映をとおして、カトマンドゥ盆地の30年の変化をおう。上映後、監修者南真木人のトークあり。

中国雲南省大理盆地の回族

2019.2.17 [日] 14:00～16:00（開場13:30）

撮影：2010年・2012年 監修：横山廣子 上映時間：84分
司会：福岡正太（本館 准教授）
解説：横山廣子（本館 名誉教授）



回族は中国文化を受容し、イスラームを信仰する民族で、中国各地に1100万人近く、雲南省大理にも約2万人が暮らす。宗教が違うペー族から花嫁を迎えた婚礼、出稼ぎで資金をためて新築した家の祝賀式、アラビア書道家とその技を描いた3作品を通じて、回族の生活や宗教、周辺の民族との関係を知る。上映後、監修者横山廣子のトークあり。

 国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

【お問い合わせ先】

国立民族学博物館 企画課博物館事業係

Tel:06-6878-8210 Fax:06-6878-8242

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1

<http://www.minpaku.ac.jp/>

【会場】

淀川文化創造館 シアターセブン

阪急十三駅 西改札口より徒歩約5分

〒532-0024 大阪市淀川区十三本町1-7-27

サンボードシティ5階

<http://www.theater-seven.com/>

